



二松學舎大學
父母会報

平成5年5月10日創刊
 平成30年3月31日発行
 (第100号)

二松學舎大学父母会
 (本部・事務局)
 東京都千代田区三番町6番地16
 二松學舎大学学生支援課

題字は
 故 観山貞広堂吉先生書



卒業を祝す

父母会会長 南條 麻里



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんが入学してからの

四年の間、各地で地震や噴火、豪雨など多くの自然災害がありました。残酷な事件や事故のニュースもたくさん耳にしました。貴方が一心に学べる環境にいられた事、卒業に至れた事はとても有り難い事なのだと思います。それは決して自身の努力だけではなく、支えて下さる方がいての賜物です。感謝の気持ちを忘れないで下さい。

皆さんは卒業と同時に松苓会（OB会）会員となり、「二松學舎大学の卒業生」という看板を背負います。卒業を機にもう一度、また長い人生の折々にも、「建学の精神」を思い出し自分を顧みて下さい。『自ら考え行

動できる能力を鍛え、社会の為に貢献する人物」として、「豊かな国語力を備えた真の国際人」として、二松學舎大学の卒業生として、諸先輩方や後輩達に恥ずかしくない生き方をしたいって欲しいと願っています。

父母ならびにご家族の皆様、ご子息ご令嬢のご卒業を心よりお喜び申し上げます。

三月十五日、中野サンプラザにて挙行されました学位記授与式の後、九段下へと戻り「ホテルグランドパレス・ダイヤモンドルーム」に於いて、父母会主催『卒業パーティー』を執り行いました。父母会から卒業記念品として卒業アルバムも贈呈いたしました。美味しいパーティー料理を囲み、お世話になった先生方や友人と談笑し、学生最後のひと時を楽しんでもらえた事と思います。

最後になりましたが、二松學舎大学教職員の皆様におかれましては、学生たちの為に公私にわたりご指導を賜りました事、深く感謝申し上げます。

また、四年間父母会活動にご理解とご協力をいただきました父母会員の皆様、ありがとうございます。役員として活動を通し、本学の素晴らしさを学べました事、様々な行事に深く携わらせていただきました事、創立一四〇周年の記念の年に二〇〇号目の父母会報の発行ができました事、感謝しております。誠にありがとうございます。

二松學舎大学と皆様の弥栄をお祈りします。

自分の道を造り出す気構えで社会を乗り越えて行く

理事長 水戸英則



皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんはこれから社会に出っていくわけですが、そこは、グローバルゼーションとデジタルゼーションの二つの大きな波が押し寄せています。グローバルゼーションは、各国において所得、雇用、教育等の面

格差の拡大をもたらし、各国政府は経済・政治・社会面で格差是正を図る政策を展開しております。またデジタルゼーションは、AI、IOT等が経済・社会の中に浸透してきており、ルーティンワークは、AIに代替されていくため、今後十〜十五年後には、現在の人間が行う仕事の五割がなくなると云われています。こうした大きく変化する社会の中で皆さんが仕事をしていく上で、参考にな

ることを二点申しあげます。先ず第一点は、皆さんは二松學舎大学の四年間でどのような力が付いたかを整理しておきましょう。皆さんは様々な基礎・専門知識を修得し、コミュニケーション能力、語学力、分析力、論理的思考力等技能を身につけ、これら知識と技能を兼ね備え、主体的に行動できる力が備わったと思います。従って、実社会では、皆さん自身の主体性をしっかりと保ち、自らの役割を自覚し、様々な変化や多様な価値観を受け入れながら、公正な判断を行い、自ら行く道を造りだしていくことが肝要です。二点目は「復元力」が大事で

す。想定外や板挟み、不意に訪れる逆境に対して、これに向き合い、めげない心、強靱な心で乗り越えて行く必要があります。是非、精神をボジティブに持つ訓練を日頃からし、復元力を涵養していただきたいと思えます。「主体性を持って、自分の行く道を造り出していくこと、復元力の涵養」、以上二点を念頭に、仕事や研究を行い、人に頼らず、収入を得て、自立した家計を営み、その上で、そうした社会的な活動の中で、日本や世界を、よりよい社会へと導いていく有意な人材として活躍することを念願しております。

知的好奇心を持ち学びの継続を

学長 菅原淳子



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在学中の数々の思い出を胸に、新たな人生の扉を開こうとされている皆さん。未来に続く道に案内図はありません。自らの人生を自身の力で切り拓いて頂きたいと思えます。社会人となった時

に、大学で学んだ専門知識を必ずしも生かすことができないかもしれませんが、身に付けた考え方や学びの技術を駆使することで様々な分野で活躍することは可能です。皆さんがこれから生きていく時代は、人工知能(AI)やロボット技術を軸とする第四次産業革命の時代と言われています。さらに日本では人生一〇〇年時代に入ったとも言われ、このような時代に皆さんは人生

の様々なステージで学び直し、働き方を変えていくことになるでしょう。情報が溢れ環境が急速に変化する時代、皆さんには変化を恐れず柔軟に対応し、絶え間なく新しい知識をインプットするよう学び続けて頂きたい。また、仕事を離れて家庭に入っても知的好奇心を常に持ち続け、生涯を通して学んで頂きたいと思えます。皆さんは、これからの人生の中でさまざまな問題に直面するでしょう。そこでは自らの力で解決方法を見出すことも求められるでしょう。その時間わかれてくるのは、「主体的に取り組む力」、「自ら考える力」そ

して「やり抜く力」だと思えます。皆さんがこうした力を、大学での四年間で身に付けて下さったと私は確信しています。皆さんが社会人としての自覚と責任を持って、社会に貢献されることを期待致します。どうぞ自信を持って新たな一歩を踏み出して下さい。さまざまな可能性を持っていらつしやる皆さんの前途が希望に満ち溢れていることを祈念して、贈る言葉と致します。

文学部的祝辞

文学部長 江藤 茂博



社会に出るといろいろなることがある。楽しいことも、辛いこともある。確かにそうかもしれない。でも、文学部の学生はすでに小説やアニメやマンガ、そしてゲームなどでそれらを先取りしている筈だ。いや、文学部の学生に限らず、この情

知ることになったかもしれない。そうだとすれば、社会生活で出会うことにあまり新鮮さは期待できない。むしろ新鮮さは錯覚であり、リアルなだけだ。すでに君たちは多くのことを先取りしている。一般には、非リアルからリアルへとシフトする時、このリアルへの転換が卒業だとイメージできる。でも、私ならば、よりリアルな小説やゲームがこれから始まるのだと言いたい。えっ、まだ、小説やゲームなの、と君たちは思うかもしれない。でも、言葉で紡がれているのがこの世界である以上、社会生活もまた小説やゲームと同じなのだ。しかし、これから始ま

るリアルな小説やゲームは、誰からもプログラミングされていない。君たちが君たち自身でプログラミングしなければならぬ、どこにも結末が見えない小説としてゲームなのである。どんな些細な出会いも、偶然と片付けることなく、それを必然なものに変えていかなければならぬ。また、どこかに用意された正解に頼ることもできない、そんな世界が始まるのだ。既視感に溢れながら、無数の出来事、物語と格闘するこれから人生での健闘を心より祈る。

卒業生に送る

国際政治経済学部長 中山 政義



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。どうぞいまます。それぞれに思い出深い四年間を過ごされたことと思います。学舎を巣立ち、社会人となる皆さんに、一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。どうぞいまます。それぞれに思い出深い四年間を過ごされたことと思います。学舎を巣立ち、社会人となる皆さんに、一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

一方では、科学技術の進化によっても社会が急激に変えられようとしています。野村総合研究所と英オックスフォード大との研究では、十〜二十年后に、日本の労働人口の四十九%がAIやロボットなどにより代替可能との報告書が出されました。技術革新により、多くの職種も消えると予想されており、身近に衝撃的な変化が迫っています。

行動してください。社会で生じる複雑な現象を客観的に分析する力や、知識を活かして問題を解決する力を、すでに皆さんは身に付けているのですから。大学の講義で蓄積された知識を活かし、ゼミナールで鍛え上げられた論理的な思考力と発言力を発揮し、さらに課外活動で得た行動力をもってすれば、困難を乗り越えることができます。

文学部

国文学科・

中国文学科の先生方から
餞の言葉を頂きました。

ふじくんが言うように、
理想で作った道を現実が塗り替えてく
けど、思い出はその軌跡の上で
輝きになろう。残さず。島田泰子

自分を信じて進んでください。

“今”にフォーカスしよう

増田裕美子

何も無いところに光を見出す力の源は

下ったひとつしかない。

(齋藤陽道、宝箱より)

荒井裕樹

身体で学んだ古典芸能は、

きっと社会で迷った時の指針

になるでしょう。

中所宜夫

塩田今日子

笑門来福

中川桂

正道の頭に
神宿る

大藏吉次郎

明日ありと 思う心の仇桜

夜半に山風の 吹かぬものは

(『親縁鳥取主人絵詞伝』)

小山聡子

Way to go!

白井雅彦

例え結果が出なくとも、これまで
努力してきた経験は、長い人生の
中で、きつと活きてくると思っています。
心くじけそうになったら、ぜひ
母校の方に足をお運び下さい。

五月女肇志

永寿禍福

原由尔恵

道はひとりで

行くもの

磯水絵

御卒業おめでとうござります。

ゼミ生のみるゑ。毎回話し合ひ

とろもかんぼうまいたね。直剣に

考え表現する力。必ず役に立つと思

います。夜ふそりする人。期待を

禍福は糾える縄の如し

稲田篤信

御多幸をお祈り申し上げます。

多田一臣

慣習の支配は常に人間の

進歩の妨げとなる(アラミル)

林謙太郎

たまには近況報告でも送っ
て下さい。僕も必ず返事を
書きます。

五井信

パアが来る前に
周りをよく見ておこう

森野 崇

少年易老學難成
一寸光陰不可輕

若い時間を大切に!!

戸内俊介

読む巻書、行る里路。

張佩茹

どうぞお元気で。
たまには思い出して、遊びに来てください。

改田明子

「もはやそれは新しい物語り、
別の長い物語りでなければならぬ。」

(大西巨人曰神聖喜劇也)

山口直孝

大器免成

田中正樹

知之爲知之、不知爲不知。
是知也。

高山 節也

温故知新
其澤浩一

臨機應變

牧角悦子

生きている限り、バッドエンドはない。
僕達はただ途中だ。
これから続きをやるのだ。
(又吉直樹「火花」) 瀧田浩

別の考えか
無いのよと一考してから
決断しよう

山崎正伸

青春は美し

渡邊 子

人間は習慣の束

福島 一浩

学生時代の

想い出を大切に!

谷 口 貢

喜怒色に形さず

伊藤晋太郎

人生航海、楽しんで

楽しんで また楽しんで

市来津富彦

向かいを思える人生を送ってください。

松本健太郎

敬天愛人

積善餘慶
積惡餘殃

野間文史

永井鉄郎

文学部

国文学科・

中国文学科の先生方から

饒の言葉を頂きました。

国際政治経済学部

国際政治経済学科の

先生方から

餞の言葉を頂きました。

御卒業おめでとうございませう！
御多幸をお祈りいたします。

御卒業おめでとうございませう！

御卒業おめでとうございませう！
つまらない世の中でも、
楽しく楽しく、楽しく、
楽しく、楽しく、楽しく、

合六強

御卒業

おめでとうございませう！

岩田幸訓

ご卒業おめでとうございませう！

Fortune favors the prepared mind.

— Louis Pasteur

加藤木綿美

ご卒業おめでとうございませう！
六分の快気四分の熱

高野和基

とにかく結果を出すこと、

そのための実行力を養って下さい。

須藤和敬

ご卒業おめでとうございませう！
ご活躍と、お祈り致します。

高岸 道枝

これからどんな厳しい環境になる
でしょう、一層奮気してください

河原田

いつも全力は

疲れてしまう。

力は抜かないと、入らない。
(抜き過ぎも、ダメ)

白石まりも

自信をもって進んで下さい

中山政義

静かに行く者は健やかに行く
健やかに行く者は遠くまで行く

渡辺和則

金子智香

人生を歩むしめ

望月 龍

ご卒業おめでとうございませう！
心からお祈りいたします。

西川 幸平 全 推子

Many congratulations on your
graduation, I wish you
all the best.
Parents: Akitsuna, Yumi

感謝の気持ちと大切に

田端 克至

社会よるとこころに注ぎ

工屋 茂

美しい、視点を見たら

大学のせいも思い出さず

山崎 悠一

将来の心があれば、気軽にキャリア
センターに相談に来てください。

佐藤 晋

ご卒業おめでとうございませう！

みずさんの方が社会で十分に

発揮されることに期待しています。

飯田 幸裕

ご卒業おめでとうございませう！

ご活躍も心からお祈りいたします。

咲川 可央子

御卒業おめでとうございませう！

夢中になれるものを見つけ、

人生を楽しんで下さい。

手賀 裕輔

I wish you
all the best
in your new
life in the
real world
A.R. FALVO



平成29年度 卒業式

平成三十年三月十五日(木)、中野サンプラザホールにおいて、平成二十九年度二松學舎大学学位記授与式(卒業式)が挙行されました。着飾った卒業生たちが会場前に集合し、友達同士や親子で写真を撮る風景があちらこちらで見られました。

午前十時、開式宣言に始まり、国歌斉唱、学務局長による学事報告に続いて、文学部卒業生に学士(文学)、国際政治経済学部卒業生に学士(国際政治経済)の学位記・卒業証書が授与されました。

国文学科・中国文学科・国際政治経済学科それぞれの成績優秀者には、中洲賞として賞状と賞品が授与され、その後、教育職員免許状が伝達されました。

続いて菅原淳子学長の告示、水戸英則理事長・廣田克己松苓会長の祝辞、祝電披露、送辞、卒業生代表の答辞、国歌斉唱と進行し、厳粛のうちに卒業式は終了しました。

卒業生の皆さん、ぜひ自分の夢を大切にして粘り強く仕事に取り組み、社会人として活躍されることを願っております。



業

平成29年度
卒業パーティー
in
ホテルグランドパレス
ダイヤモンドルーム

平成30年3月15日(木)、午後3時30分より
ホテルグランドパレス
「ダイヤモンドルーム」において、
平成29年度卒業パーティーが開催されました。
パーティー会場では
ゼミの先生を囲んでの写真撮影や
友との語らいの楽しい時間が瞬く間に過ぎ、
終了後は立ち去りがたく
別れを惜しんでいる姿が見られました。





祝 卒



卒業にあたり、新しい人生への、希望に満ちた門出に胸膨らませている学生三名に、四年間学んだ学生生活を振り返り、現在の心境及び感想等を語っていただきました。

『大学生生活を振り返って』



国文学科

田村 萌依華

四年間の学生生活を振り返ると、「選択の機会」というものがそれまでと比べて非常に多く与えられていたように感じます。例えば学びたいことが沢山ある中でどの講義を履修するか、十分に与えられた長期休暇で何をするかなど、勉学でもその他の場面でも、自分が何をしたいかということを非常によく考えさせられました。そしてそれは、今まで何となく行動することが多かった私にとって少し難しくもあり、楽しくもありませんでした。

数々の選択の中でも随分と悩んだ記憶があるのは専攻の決定です。なぜなら当時の私はどの分野にも興味



があり、満遍なくすべてを学んでみたいと思っていたからです。しかし全部を選ぶという選択肢はなく、私は迷った末に日本語学を専攻することに決めました。日本語学を学んでみると、日本語の音の歴史や類義語の違いの研究など、普段なんとなく使っていた日本語をこれまで考えたこともなかったような視点から見ると、その中に様々な発見をすることができました。そういった発見をするたびに日本語の面白さということを知り、私にとってはそれがとても楽しかったです。また、相変わらず他の分野への興味も持っていた私は、時に学部や学科を問わず、日本

語学とは全く異なる分野の授業を履修してみたりもしました。もともと強い関心や知識があったというよりは小さな興味から踏み込んでみるということが多かったため、授業についていけるか、半分くらいは興味本位なのに大丈夫か、などといった不安も最初は少しありました。しかし実際に履修してみると、どの授業も日本語学とはまた違った発見がいくつもあり、最初に抱いていた不安も吹き飛んでしまうくらい楽しかったです。専攻した日本語学の授業もその他のどの授業も、私がいつも興味を持って学ぶことができたのは、その内容がとても面白いから、という理由ももちろんあるでしょう。しかし、それだけではなく、もつと学びたいと好奇心をかき立てられるような素敵な授業をしてくださる先生方と出会えたから、という理由もあると思います。そういった沢山の素敵な出会いに恵まれたこともあって、私は興味を持ったらずは踏み込んでみるということの面白さを知ることができました。

また、興味を持ったらずやってみようという考え方は徐々に勉学以外の面にもあらわれるようになったと思います。例えば、アルバイトでは今までやったことも、やるうと思っただけでもなかったパンの製造に挑戦してみたり、以前は方向音痴だからと決まった場所以外には滅多に行かなかったのに色々な場所や店に足を運んでみたり。そして、その先にも常に人や物との出会いがあり、その楽しさを知るたびに、これまで何かに興味を持ってもなかなか行動に移してこなかったことを少しだけ後悔しました。

これから社会に出ても、何かを選択する機会や色々な物事に興味を持つ機会が沢山あると思います。そうした時には不可能や失敗ばかりを考えて立ち止まり、後に後悔してしまふのではなく、大学生活で学んだ挑戦することの楽しさを思い出し、まずはやってみるということをして、大事にしていきたいです。そして、その先にある出会いというものを、生涯を通して沢山経験していきたいと思えました。

最後になりますが、先生方を始め、これまでの大学生活を支えてくださったすべての方々に深くお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

『四年間を終えて』



中国文学科

市原 悠太

まずは、無事に卒業できたことに安堵しています。そして中国文学科を代表して、このような大役を仰せ

つかり、驚きと喜びを感じるどころです。私が今回、拙文をしたためることが出来ますのも、厳しく誠実な指導をしてくださる諸先生や、共に学問に打ち込む学友たち、そして、片道一時間半の通学をはじめとする私生活のサポートをしてくれる家族等、四年間の大学生活を支えてくださる皆様のお力添えがあつてこそその賜物です。この場を借りて深く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

四年前の春、市ヶ谷駅から満開の桜が咲き誇る靖国通りを往き、はじめて登校した日のことは、まるで、昨日のことのように思い出すことが出来ます。新しい生活、新しい学び

舎、学問、新しい仲間、入学と共に出くわすだろう全ての事物に、期待と緊張を抱いていたものです。

自ら時間割を組み、朝早くから夜遅くまで講義を受ける、家に着く時間が午後十一時を回ることも少なくない。大学生活の一年目は慣れないことや分からないことも多く、肉体的にも精神的にも辛く感じるときもありましたが、今となってはそれも感慨深いものがあります。

大教室で座席に着いて講義を拝聴することの多かつた一年目と打って変わって、自ら資料を用意し人前に立って話す機会も増えていった二年目、そして三年目は、不特定多数の人の前で話すことを苦手とする私に多くの緊張を与えました。しかし、一方で先生方に資料の出来をお褒めいただく機会も与えられて良い経験

となりましたし、自信にも繋がったと思います。その甲斐もあり三年時に好成绩を残すこともできました。

卒業論文には、かねてより関心のありました『韓非子』をテーマとし、彼の法思想や国家観について研究を進めました。もちろん、やり残したことがないとは言えませんが、ひとまずは納得のいく限り、彼の思想・哲学を追究し、自分の内に消化することができたと思います。卒論執筆にあたり監督していただいたゼミナール担任である田中正樹先生には、感謝の言葉しかございません。

この四年間で、私は、多種多様な講義を受けさせていただきました。中国文学科ではありますが、専攻に比較文学文化を選んだこともあり、国文学科の講義等も受け、中国のみならず、日本や米国の文学文化にも接し、物事を多角的に見る力を得ることが出来たように思います。

在学中に得られた知識、知見は、貴重な財産です。これからの人生においても非常に意味深いものとなるでしょう。その四年間の締めくくりに中洲賞を頂きましたことは本当に喜び溢れる出来事でした。

こうして振り返りますと四年間はあつという間に過ぎていったように

感じられ、また、名残惜しくも思います。楽しいことも辛いこともありました。その全てが、学びの時間でした。二松學舎大学で学んだ日々を糧とし、気持ちを新たに次の一步を踏み出したいと思えます。先んじてここを卒業していった先輩方に恥じぬよう、これからも日々勉学に励み、物事に真摯に向き合い、自身を省み、広く社会に貢献していきたいと思えます。

先生方や学友達、家族の存在なくして、卒業の佳節を迎えることは、あり得ないことです。改めまして、大学生活を支えてくださった全ての皆様に、深く御礼申し上げます。末筆ではございますが、二松學舎大学の、益々の御発展をお祈り申し上げます。



『四年間の大学生活』



国際政治経済学科

秋山 菜奈

私は、この四年間の大学生活において国際政治・経済や英語の授業を中心に受講しました。授業を通じて国際社会における政治や経済の変遷、またそれらが現在いかなる問題を抱えているかといった国際社会に関する知識を深めることが出来ました。日本国外の情勢を知ることがは日本と他国において何が違い、何が似ているのか、あるいは何が同じなのかを判断する基準を養うことにつながりました。同じ事柄であっても国が違えば、捉え方や対処の仕方が全く違うことを改めて認識しました。そのことが、国際社会への興味・関心につながり、日常の中で世界に目を向けるという意識が芽生えていきました。日々のニュースの受け取り方が変わったり、異なる文化に触れ

てみたいと思うようになったりと、四年間の学びで視野の広がりを感じました。加えて、講義の中で先生方から海外体験の話を伺う機会が何度もありました。その体験談からインターネットやテレビ、書籍などのメディアだけでは他国の文化や事情を理解することはできないこと、現地に行くことで初めてわかることが非常に多いということを実感しました。私自身も実際に自分の目や体で日本以外の文化や環境を体験し、様々な角度から物事を見ることのできる人間になりたいと考えるようになりました。在学中、長期休暇等を利用してアジア圏の国を訪れた際、近隣の国であっても文化や風習、慣習が一八〇度異なることを肌で感じました。国内と国外の相違点、類似

点は自分自身の目で見て、実際に体験することでより理解が深まることを実感する良い機会になりました。

学業以外では、サークル活動を通して他学部・他学年の学生と交流の機会を得ることが出来ました。学ぶことや育った環境、世代が違う仲間と過ごすことで、新たな価値観や考え方に触れ、学業的な事だけでなく日常生活においても視野を広げることにつながりました。彼らとの出会いは私の大学生活における財産のひとつです。卒業後もたくさんのお会いが待ち受けていると思います。この経験は、自分と異なる価値観との出会いを大切にし、自身の糧にしていきたいと考えるきっかけになりました。

私は進学にあたり、親元を離れて一人暮らしを始めました。それまでは、両親の力を借りながら物事に取り組みんでいました。そのため、彼らに助けられる反面、周囲の人々、特に両親からの評価を気にしながら生活をしていました。しかし、文字通り一人で新しい環境に飛び込んだことで、私自身の意志で選択し、様々な物事に積極的にチャレンジできるように became 感じています。一方で、両親という最も強い味方が近く

にいないことは私自身にとって精神的な抛りどころを失うことでもありました。自身の責任で新たな物事に挑戦することは、とても勇気が必要であることを実感しました。これまでに、自分自身がいかに関係者に頼り、彼らに支えられて生活してきたのか、一人暮らしをして初めて考えました。一人暮らしをしなければ、家族の大切さや有り難さを感じることはなかったのではないかと思います。時に、家族の存在は私たちにとって煩わしいものかもしれませんが、しかし、私を常に支えてくれたのは家族の存在だったと改めて感じています。この四年間を通して家族をはじめとする周囲の人々に感謝の気持ちを常に持っていたと思います。

私にとってこの四年間は二十二年間の中で最も濃く、中身のある時間でした。もちろん、良いことだけではありませんでした。しかし、全ての出来事が私にとって学びであったと確信しています。ここで学んだ全てのことをこれからの人生の糧にしていきたいと思っています。

これまで私を支えてくださった方々に感謝申し上げます。

日展に入選して

中国文学科四年 田中亮太

この度「改組 新 第四回日展」に
 新入選させていただき、日頃から御
 指導いただいております福島一浩先
 生をはじめ、家族、硯友の皆様、支
 えてくださっている全ての方々に深
 く感謝申し上げます。

書の道を志し、四年前に広島県よ
 り上京しました。慣れない環境に故
 郷が恋しくなることも多々ありまし
 たが、時間を見つけては神保町の古
 書店街を歩き、書を学ぶ上で絶好の
 環境で毎日過ごせたことは、今振
 り返るととても幸せな日々でした。

また、一年次から所属した書道部の
 活動では、部長を経験させていただ
 き、当時八十名を超す部員と共に切
 磋琢磨できたことも私を大きく成長
 させてくれました。

そんな学生生活の集大成と位置付
 けて、今年初めて憧れの舞台であつ
 た「日展」に挑戦しました。入選の
 通知を受け取った際は驚きのあまり
 頭が真っ白になり、その場に立ち尽
 くしてしまいました。急いで先生、
 両親に報告をした後に

少しずつ実感が湧き、
 自然と涙が止まりませ
 んでした。

作品は万葉集から和
 歌十二首を選び、折帖
 に仕立てました。書を
 学ぶ上で文学との繋が
 りは非常に深く、とり
 わけ仮名は題材となる
 和歌や俳句の解釈が作

品の深さや奥行きに繋がるのだと私
 は感じています。遠く古の万葉人に
 想いを馳せ、できるだけ大らかに、
 のびのびと筆を運ぶことを心がけ制
 作に挑みました。しかしながら自分
 の意に沿う作品というものは容易く
 生まれるはずもなく、今となっては
 反省点も多々あります。会期中は多
 くの方々に足を運んでいただき、励
 ましのお言葉をいただきました。こ
 の場をお借りして御礼申し上げます。

二松學舎での四年間は、まさに書
 に捧げた四年間でした。決して楽し
 いことばかりではありませんでした
 が、苦しみを伴いながら自分自身と
 向き合うことができた時間は、これ
 からの私を導いてくれる大切な心の
 地図になるのだと思います。これか
 ら先も書を手放すことなく、ゴール
 のない遙かな書の道を一歩ずつ前進
 していき、いつの日か誰かの心に響
 く作品が一作でも書けるよう、努力
 を重ねていこうと思っております。
 ありがとうございます。



田中亮太さん（会場にて）

学生顕彰報告

●団体

書道部

第102回書教展

団体優秀賞

東都大学軟式野球連盟秋季リーグ戦

準優勝

●個人

田中亮太さん

改組 新 第4回 日展

入選

第34回読書法展

秀逸

第102回書教展

文部科学大臣賞（一般部）

大石昌輝さん

優勝（一般男子重量級）

第9回JKJO全日本空手道選手権大会

優勝（一般男子重量級）

日原慧子さん

優秀賞

エフソフオートグランプリ2017

学生部門

浦島慧太さん

審査委員長賞

第102回書教展

審査委員長賞

山本里緒さん

入選

第34回読書法展

審査委員長賞

浦野賢太さん

入選

第102回書教展

二松學舎大学学長賞

後藤一穂さん

特別賞

第3回尼崎落研選手権

特別賞

荻野裕奈さん

入選

第34回読書法展

入選

小島徳仁さん

入選

第34回読書法展

全日本書道連盟賞（一般部）

第102回書教展

全日本書道連盟賞（一般部）

第22回全日本高校・大学生書道展

書道展賞（かな部）

磯部里奈さん

審査委員長賞

第22回全日本高校・大学生書道展

審査委員長賞

全日本高校・大学生書道展大賞（かな部）

入選

第34回読書法展

入選

越谷市書道連盟展

特選

第66回独立書展

秀作

堤拓斗さん

秀作

2017独立選抜書展

特選

第66回独立書展

特選

廣野花音さん

中国大使館賞（大学部）

第102回書教展

中国大使館賞（大学部）

宮野しえりさん

第102回書教展

審査委員長賞

第36回道風の書臨書作品展

入選

第5回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクール

中国大使館文化部賞

上原健太さん

審査委員長賞

第102回書教展

審査委員長賞

大村輔さん

審査委員長賞

平成29年度東都大学軟式野球春季リーグ戦

盗塁王

金田亮太さん

盗塁王

平成29年度東都大学軟式野球春季リーグ戦

首位打者

平成29年度東都大学軟式野球秋季リーグ戦

ベストナイン捕手

平成29年度東都大学軟式野球秋季リーグ戦

ベストナイン捕手

澤田真理奈さん

審査委員長賞

第102回書教展

審査委員長賞

堀内郁奈さん

審査委員長賞

第102回書教展

文部科学大臣賞（大学部）

山口真由さん

文部科学大臣賞（大学部）

第24回よませ全国学生スキーチャンピオンシッ

プ大会

入野貴さん

女子大回転新人の部

平成29年度東都大学軟式野球秋季リーグ戦

最多勝

小曾根悠太さん

最多勝

平成29年度東都大学軟式野球秋季リーグ戦

盗塁王

澤田ありすさん

盗塁王

第24回よませ全国学生スキーチャンピオンシッ

プ大会

小林真歩さん

女子大回転新人の部

第102回書教展

第5位

岩永凌児さん

審査委員長賞

平成29年度東都大学軟式野球秋季リーグ戦

審査委員長賞

岩永凌児さん

審査委員長賞

平成29年度東都大学軟式野球秋季リーグ戦

打点王

課外活動団体報告

狂言研究会

第38回自演会 ポスター等印刷費助成

書道部

第52回二松學舎大学書道部学外展

会場借用費助成

劇団こんにちはシアター

劇場こんにちはシアター冬公演

会場借用費助成

軟式野球部

第38回東日本軟式野球選手権大会 遠征費



会報

年の

ゆみ



100号
記念

父母
25
年

●卒業後も支援します！

学生が選んだそれぞれの進路について、卒業後も成長し、活躍されることを、キャリアセンターでは非常に期待しております。

平成二十九年卒業生のご父母の皆さま、おめでとうございます。

二松學舎大学は、卒業して終わりということではございません。卒業後におきまして就職・就労に関する相談等を受け付けております。カウンセラーの予約も可能です。進路変更や転職のご相談もお寄せください。

卒業後も仕事で悩むことがあれば、大学に相談していただきたいと思います。

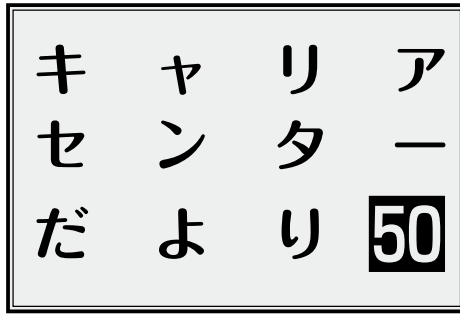
●就職活動 本番です！

新四年次生の就職活動は、いよいよ本番です。

キャリアセンターでは新四年次生全体に向けた各種講座やイベントを実施し、今後は個別に支援を行なっていきます。

就職活動は、学生が大きく成長する機会です。社会との接点を持ち、将来を考え、様々な試練を受けます。反面、悩んだり、困ったことに遭遇することもあります。そのようなとき、一人で抱え込まず、ぜひキャリアセンターで相談して欲しいと思います。キャリアセンターは進路支援のプロフェッショナルです。

また、ご家族や友人からアドバイスをもらったりして解決する場合もあります。ご父母の皆さまにも、学生への



温かいご支援をお願いいたします。

●今どきの就活は、ご父母のときと違います！

ご父母の皆さまのときの就職活動と今とでは、産業構造も変化し、情報ツールも多様化し、なにかも変わっております。ご父母の皆さまにも今の就職活動を知っていただき、どのような支援が適切なのかをご理解いただくために、新三年次生のご実家宛てに『就活支援ブック 保護者編』を、お送りしております。

同封のその他の書類はご子息ご息女にお渡しください。(学生が一人暮らしの場合にこのタイミングで引越すことが想定されるのでご実家宛て送付とさせていただきます) おります。

いよいよ就活が迫ってきて不安ばかりを感じないように、冊子をお配りしておりますので、ご覧いただければ幸いです。



父母会の助成により実施された『ES突破法講座』おかげさまでほぼ満席で、学生からも高評価でした

平成30年度二松學舎大学日程表

年	月	日	月	日	日 程	
平成30年	3	26	~	4	7	ガイダンス期間 (9日間)
	4	2				入学式
	4	6				新入生歓迎式典
	4	9				春セメスター授業開始
	4	20				前期授業料納入期限
	5	26				父母会定期総会
	6	17				文化祭 (九段)
	6	24				体育祭 (柏)
	7	16				海の日 (授業実施)
	7	16	~	8	4	試験期間 (定期試験期間を含み18日間)
	7	28				授業期間終了
	8	5	~	9	12	夏期休業期間 (39日間)
	8	16	~	8	17	追試験
	9	5	~	9	7	ゼミ合宿期間
	9	13				秋セメスター授業開始
	9	17				(敬老の日) : 授業実施
9	29				春セメスター学位記授与式	

年	月	日	月	日	日 程	
平成30年	10	8			(体育の日) : 授業実施	
	10	10			創立記念日 (休講)	
	10	20			後期授業料納入期限	
	11	2			学園祭準備 (休講)	
	11	3	~	11	4	学園祭
	11	23				(勤労感謝の日) : 授業実施
	12	20	~	1	28	試験期間 (定期試験期間を含み18日間)
	12	25				全学休講
	12	26	~	1	6	冬期休業期間
	平成31年	1	7			授業再開
1		19	~	1	20	センター試験 (17日・18日・19日休講)
1		21				授業期間終了
2		6				卒業研究面接試問 (国際政経)
2		8	~	2	9	卒業論文面接試問 (文)
2		13	~	2	14	追試験
3		上旬				卒業生発表
3		上旬				進級者発表 (文・国際政経)
3	14				学位記授与式 (卒業式)	

平成29年度 海外研修報告

学長 菅原 淳子

二〇一七年八月、父母会の助成を受けて二年ぶりにブルガリアを訪れた。私はバルカン近代史を専門としているが、近年はブルガリアのオスマン帝国からの独立運動をテーマに研究をまとめる作業に入っている。

今回は首都ソフィアで文献・資料を集めるとともに、一八七六年に起きた民衆反乱で中心的な役割を果たしたバルカン山脈の町や村を回った。ブルガリアを含むバルカン諸国は十四世紀末以降、約四〇〇年、五〇〇年にわたってオスマン帝国に支配され、十八世紀末の民族意識の覚醒を経て、十九世紀に入ると独立運動を繰り返した。そのなかでもブルガリアはオスマン帝国の首都イスタンブルに近く、トルコ人も多く居住していたことから、最終的に独立を獲得したのはギリシア、セルビア、ルーマニアなどより遅れ、二十

世紀初頭であった。

独立に先立ってブルガリアの自治は一八七八年のベルリン会議で承認されるが、そのきっかけとなったのが一八七六年の「四月蜂起」と呼ばれる全土的な民衆反乱であった。トルコの支配に抵抗して起こされた反乱は一ヶ月後に鎮圧され、その際にトルコ人が行った暴虐は当時のヨーロッパ諸国の世論を喚起することになった。今回滞在した山間の村コプリフシュティツァは、反乱の開始の合図となった最初の銃声が響いた村である。隣接するパナギュリシユテは、反乱を指導した革命委員会がブルガリア全土を四地区に分けたうちの第四革命地区の中心地で、この町には大変立派な歴史博物館がある。近代史の専門家であるシヨポフ博士の案内と解説で、「四月蜂起」の詳細を具体的に知ることができ大変有意義な訪問となった。

都市文化デザイン学科 専任講師

ヴィグル・マティアス

平成二十九年八月四日〜二十日までドイツのキールとフランスのリールを訪れた。目的は第九回国際アジア伝統医学大会に参加し、リール市図書館で資料調査を行うためである。

国際アジア伝統医学大会は四年に一度、英語で行われているアジア伝統医学について最も大きい学会である。今回もアメリカ、カナダ、中国、インド、ロシア、ヨーロッパの各国など三十カ国からおよそ三五〇名が参加した。日本からの参加者もいたが、中国人と韓国人と比べても少なかった。全セッションは英語で行われているのでかもしれない。五日間にわたる学会で、三十パネル、十三ワークショップ、映画祭、「Drugs, Fluids, and Other Matters: Medical History through the Lens of Things」(薬、液体とその他のもの)のから医学史を考える」というパネルで「The Illustrations Depicting the Circulation of the Qi and their Use during the Tokugawa Period (徳川時代の経絡図とその利用)」の研究発表を行った。質疑応答の時に、いろいろなコメントをいただき、得るところは少なくなかった。その日の夜はパネルの参加者と一緒

にイタリア料理屋さんに行って、遅くまで会話が盛り上がった(写真)。第九回国際アジア伝統医学大会が終わった後に、フランスのリールで二松學舎大学の他の教員と合流し、リール市図書館のレオン・ド・ロニの旧蔵資料の調査を行った。レオン・ド・ロニー (Leon de Rosny, 1837-1914) は一度も日本を訪れたことはないが、フランスの日本研究の第一人者だと言われている。ロニーコレクションには漢籍約五百冊と、和古書約三百冊が所蔵されている。和古書の目録は数年前にすでに出版されたが、まだ漢籍の正式な目録がないので、二松學舎大学「二松學舎大学私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」の一環としてリール市図書館のロニーコレクションの漢籍目録を作ることになった。平成二十八年から始まったこの調査を、今回三日間で終了できた。現在、資料の整理作業を行っているところだが、目録は平成三十年末までに完成する予定である。

父母会の助成金を得て国際会議に参加し、資料調査も行うことができたので、父母会には心より感謝申し上げます。



反乱開始の最初の発砲が起きた橋



首都ソフィアにある教会

平成30年度 短期海外語学研修 参加学生募集のご案内

本学では長期休業期間を利用して、約三週間の短期海外語学研修を実施しています。英国圏、中国語圏、韓国語圏への語学研修を予定しています。今後も研修先を拡充していく計画です。

【英語圏】ケンブリッジ大学 ダブリンシティ大学

国際的にも評価の高いケンブリッジ大学による英語研修は、英語授業と専門科目の講義で構成されており、英語授業に加え、同大学講師から直接学ぶ講義、同大学生との交流、小旅行(ロンドンやストーンヘンジ等)、伝統的なダイニングホールでのフォーマルディナー、カレッジ寮生活体験など英国らしい体験が魅力です。修了者には、ケンブリッジ大学公式修了書が発行されます。向学心の高い学生向けの研修です。

親しみやすい人柄と悠然とした風土で人気のアイルランドにあるダブリンシティ大学付属語学教育機関における本研修は、基礎的な英語力の向上とホストファミリーとの交流を重視したプログラムです。ホームステイでは、現地の家族の一員として滞在することで、アイルランドらしい文化体験を実感します。英語力・海外経験は問いませんので、初めての海外でゆったりと英語を勉強したい学生向けの研修です。

期 間：2018年8月13日(日) から9月2日(日) (ケンブリッジ大学)。

2019年2月17日(日) から3月10日(日) (ダブリンシティ大学)。

研修機関：ケンブリッジ大学ホマートンカレッジ(英国)・ダブリンシティ大学付属語学教育機関DCUランゲージサービス(アイルランド)

研修費用：英国80万円前後、アイルランド春期60万円前後。

募集人員：ケンブリッジ大学については若干名、また英語力要件があります。ダブリンシティ大学については上限なし。両大学とも最少催行人数1名

【中国語圏】北京大学

過去二十回以上の実施となる本研修は、中国の最高学府である北京大学での語学研修を通して実践的な中国語能力と、中国の歴史・文化に対する理解を深めることを目的とした本学独自のプログラムです。北京大学講師の指導を受けながら、語

学力向上と歴史・文化を学びます。京劇、雑技鑑賞、名所旧跡の参観など首都北京で中国語を試す機会が豊富にあります。

期 間：2018年8月5日(日) から8月25日(土)

研修大学：北京大学(受入機関：北京大学歴史系)

研修費用：40万円前後

募集人員：20名(最少催行人数15名)

【韓国語圏】高麗大 学校

昨年度、新しく実施した本研修は参加学生からの満足度が高く本年度も継続して実施します。韓国高麗大の学生との交流機会、韓国人家庭でのホームステイ体験など他大学の語学研修にはなかなかみかけない特別な体験が豊富な研修となっております。語学習得以外にも大変価値のある異文化交流が特徴です。

期 間：2019年2月17日(日) から3月10日(日)

研修大学：高麗大 学校

研修費用：35万円前後

募集人員：15名程度(最少催行人数1名)

問合せ先：二松學舎大学国際交流センター

03-3261-5751



写真(右上：英国・ケンブリッジ大学、右下：中国・北京大学、左下：韓国・高麗大 学校)



春は、仕事、学校、家など、生活をとり巻く環境が変化することの多い時季です。どんな変化でも生活上の変化はストレスとなりうるという研究があつて、よい変化も悪い変化も、とりあえず生活の変化は心身に影響を与えます。なので、生活が変わる人は、ストレスに気をつける必要があります。

まずは自分がストレスにさらされているかどうかのチェックです。お勧めは、寝起きの状態を観察すること。起きるのが苦手な人や寝起きの調子が悪い人もいるので、判断には自分のいつもの寝起きを考えます。いつもの寝起きと比べて、

学生相談室

だより 100

カウンセラー 原 信夫

起きが悪いのなら、生活の中で休む時間をつくることを考えます。ストレスへの対処でもっとも効果があるのは、休む時間を作ることです。風邪をひいたわけでもないのに、授業やバイトを休むわけにはいきませんから、せめて大学やバイト以外の時間に、なるべく多くの休みを入れることが大切です。気晴らしの時間、趣味

に割く時間をとるのもいいでしょう。ただし、それが休みになっていることが必要です。何が休みになるかは人によってちがうので、自分の休みの時間を作っておくことが、何より大切になります。休みの時間を、何もしなかったと嘆く学生がいます。ずっと寝てしまつた、ずっとテレビを、スマホを、ゲームをしてしまつた、と嘆く。何もしなかったと嘆くのです。しかし、こうした時間が、自分の休み時間になっているなら、大いにしたいと思えます。よい睡眠とよい休みを。そして、変化の春に対処してください。

いいか、悪いか。すつきりしているか、どんよりしているか。寝起きが悪い人は起きて数分では、ちがいがわからないかもしれないかもしれません。その場合は三十分ぐらいでの調子を考えて、普段より悪いようなら、調子は下向きと思つて、対応を考えます。睡眠時間が少ないなら、寝る時間を増やすことを考えますが、十分に寝ているのに寝

張ゼミナール

張ゼミナールでは中国語文法に関する研究論文を精読すると同時に小説やエッセイなどを講読し、中国語に対する読解力を身に付けることを目標としています。私たちの代が一期生で、現在四年生十八人、三年生十八人が所属しています。ゼミでは発表者が研究論文や小説の内容の重要な部分を発表していきます。その上で皆が疑問に思う部分を意見して議論する形式を進めていきます。張先生はゼミ生の疑問だけではな

く疑問に関連した中国語の新しい知識も教えてくださるので、より深い知識を得ることができます。今年度の春セメでは中国語の人名詞や量詞の個体化機能に関する論文を精読し、読み物の翻訳を通して中国古典について学びました。秋セメでは疑問詞の意味機能や二重主語文の意味と構造を精読し、読み物を通して日中文化の違いを学びました。中間で行われた自由発表では中国に関連することを三分間でスピーチしました。自由発表は自身の中国語力を知ることができ、ゼミ生の個

性を垣間見ることでもできるのとても楽しいです。今年度のゼミ合宿は三年生のみで、四年生は卒業論文執筆のため行いませんでした。昨年度の合宿は二人一組で中国ドラマの字幕修正、和訳、解説を行い発表しました。和訳は苦戦する場面も多々ありましたが、互いの考えを出し合うことで日本語らしい表現に近づけることができ、有意義な時間を過ごすことができました。張先生は親しみやすく、学生にも親身に接してくださいます。普段から学生たちを広い心で見守ってく



さる張先生のもと、個性豊かなゼミ生は日々中国語を学んでおります。
中国文学科 四年 大友友紀

小山ゼミナール

私たちの所属する小山ゼミでは、中世日本の宗教文化史について学んでいます。私たちの学年は三年次に『紫式部日記』を読み解き、基本的な研究方法について学んだ後、それぞれの興味のあるものについて研究を進めていきました。ゼミでは、必ず全員から質問を受けます。生半可な知識では質問に答えられないので、準備するのはなかなか大変です。また、発表を聞く側もいい質問をしようと思いと真剣に発表を聞き考えま

す。皆それぞれ発表の内容は異なりますが、自分の興味のある事柄と他の人の研究している事柄が関わりを持つていることがよくあるので、毎回とても充実した時間になっています。合宿では、比叡山でのフィールドワークを行う年とホテルで勉強会を行う年とがあります。比叡山では一日中山を歩き、多くの史跡を見学します。史料に書かれていた場所を実際に自分の目で見ることでより深い学びや発見をすることができました。宗教文化史を専攻している

というところ、なにやら怪しげなものも研究しているように思われることが往々にしてあります。しかし、宗教は人々の生活や思想に大きな影響を与えてきました。そして、現在の私たちの生活にも関わるものです。史料を読み解き、客観的に研究することで、日本の文化についてより詳細に知ることができると思います。事物を客観的に捉えることはなかなか難しいことですが、様々な場面で求められることです。ゼミで身につけたこうした力は、社会に出たときに自分を助けてくれると思います。



国文学科 四年 松原万奈

ゼミ探訪

お知らせ

平成三十年度 父母会定期総会について

左記の日程により、平成三十年度二松學舎大学父母会定期総会を開催いたします。当日は、講演会を予定しております。

日時・平成三十年五月二十六日(土)

場所・二松學舎大学九段キャンパス
一号館

内容・平成二十九年度事業報告並びに決算

- ・平成三十年度事業計画並びに予算

新二年次生、新四年次生の会員の皆様には、平成三十年度定期総会のご案内と出欠票(委任状)をこの父母会報第一〇〇号に同封しておりますので、ご確認願います。

また、準備の都合上、ご出欠を同封の出欠票(委任状)で四月二十五日(水)までにお知らせください。定期総会資料につきましては、五月中旬に郵送にてお届けします。

平成30年度 地区別父母懇談会について

父母会事業計画の一環として、毎年地区別父母懇談会を開催いたします。

平成三十年度の開催地は、愛知県・山口県・群馬県・長野県・岩手県・東京都・高知県・福岡県の八会場を予定しております(日程は左の表をご確認ください)。

この地区別父母懇談会は、大学の現況、履修の状況、学生生活の状況、就職活動の支援等についての説明があります。

編集後記

創刊から本号に至るまでの関係者の方々のこれまでの御労苦に改めて感謝を申し上げます。

この軌跡は、正に本学と父母会の歴史を物語っているものでもあります。

歴史と伝統を誇り日本の国語教育にも大きく貢献している文学部と時代のニーズを的確に捉えた国際政治経済部との融合により、日本の冠たる大学へと一歩一歩前進していると思います。

本年は、国際政治経済学部に国際経営学科が開設されます。

このような環境の中で、父母会は常に学生と父母の皆様方並びに大学のために最善を尽くして参りますので、ご支援ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

平成30年度 地区別父母懇談会日程表

開催日	開催地区
6月10日(日)	愛知県(名古屋市)
6月10日(日)	山口県(山口市)
6月16日(土)	群馬県(高崎市)
6月24日(日)	長野県(松本市)
7月8日(日)	岩手県(盛岡市)
7月22日(日)	東京都(本学九段キャンパス) ※東京都・神奈川県在住の父母会員対象
7月29日(日)	東京都(本学九段キャンパス) ※千葉県・埼玉県在住の父母会員対象
8月4日(日)	高知県(高知市)
8月4日(日)	福岡県(福岡市)

